

2012年9月8日

駐日米大使 ジョン・ルース 様
在日米軍司令官 サンバトーレ・アンジェレラ 様

静岡県平和・国民運動センター 会長 須藤 達美
憲法擁護静岡県民連合 代表委員 須藤 達美
代表委員 橋本 勝六
静岡県勤労者協議会連合会 会長 堀内 武治

沖縄県道 104 号線越え実弾射撃訓練の東富士演習場での実施
及びオスプレイ配備と低空飛行訓練に関する申し入れ

標記について防衛省は「沖縄県道 104 号線越え実弾射撃訓練の分散・実施について(東富士演習場関連)」を発表し、東富士演習場における射撃訓練を 9 月 9 日から 20 日までの日程で実施する予定であることを明らかにしました。

私たちは、1997 年以来、沖縄県道 104 号線越え実弾射撃訓練の東富士演習場での実施に反対し、抗議行動を行ってまいりました。

東日本大震災での米国の災害救助を国民は高く評価していますが、沖縄の基地被害の実態や世界各地の戦争は容認できません。私たちは、日本国憲法 9 条が示すとおり、非武装による平和構築こそ必要であると考えています。

沖縄県道 104 号線越え実弾射撃訓練の東富士演習場での実施は、沖縄県の負担軽減の措置であったとしても、基地被害の拡散・拡大であり、日本の優れた景観である富士山を、世界遺産に登録しようとする運動にも障害をきたすおそれがあることから、中止するよう申し入れます。

また、オスプレイの普天間基地配備と、キャンプ富士派遣・低空飛行訓練を撤回するよう求めるとともに、貴国の貴重な予算を世界の民生関連費用にあて、環境と福祉の向上に振り替えること、早朝・夜間訓練を実施しないこと、危険・有害行為を行わないよう厳しく取り締まり、環境破壊防止、安全対策を徹底することも併せて申し入れます。